

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌 まなぶだより

令和7年度 第5号



学びの丘イメージキャラクター
まなぶ

Contents

- 初任者研修授業研修 ～授業力向上を目指して～
- 中堅教員が広げる「学びの輪」
～中堅教諭等資質向上研修校内研修会～
- 学びの丘 所内研修
「学びの丘の研修、ためになったよ」を目指して！
- 学びのポケット
- 放課後、ちょっと立ち寄ってみませんか？
～オンライン「学びセッション」で、教職員でつながろう～
- 令和7年度和歌山県教育センター学びの丘研究報告会を開催！



★四季の星座研修講座★ 研修の1コマ

初任者研修 初任者研修授業研修 ~授業力向上を目指して~

9月から県内各地域で、初任者研修授業研修が実施されました。授業研修の目的は、「研究授業の参観及び協議を通して、児童生徒理解に基づいた授業の在り方、教材研究及び指導技術等について理解を深め、授業における実践的指導力の向上を図ること」です。

研究授業・研究協議を通して



研究協議の様子

授業づくりの「次の一手」



受講者が作成したシート

研究協議では、「指導案に示された授業のねらいと、そのねらいを達成するための工夫はどうか」や、「具体的に達成したポイントはどこか」など、児童生徒の様子についてよく観察して協議するとともに、授業づくりの「次の一手」を導き出す取組をしています。

これからも熱意にあふれる姿勢で、児童生徒の学びをしっかりと支えていただけることを期待しています。

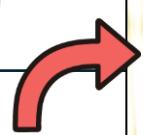
中堅教諭等 資質向上研修

中堅教員が広げる「学びの輪」 ～中堅教諭等資質向上研修校内研修会～



「地震避難訓練の事後研修の流れ」

- ①グループでの振り返り
- ②記録動画を見ながら課題を確認
- ③アンケート結果の共有（児童・教員）
- ④グループで課題と改善策を協議
- ⑤避難訓練啓発ポスターの作成
- ⑥個人での振り返り



2年生と6年生の訓練の様子を収録した記録動画を全教職員で確認しながら、活発に意見交換しました。

中堅研のキーワードは、
“**同僚性**”と“**協働性**”



中堅教諭等資質向上研修では、校外研修で学んだことを校内に還元する仕掛けとして、校内研修会の企画運営を取り入れています。

1月に実施する共通研修では、所属校での実践を持ち寄り、グループで共有し、校内での学びの一層の充実につなげます。

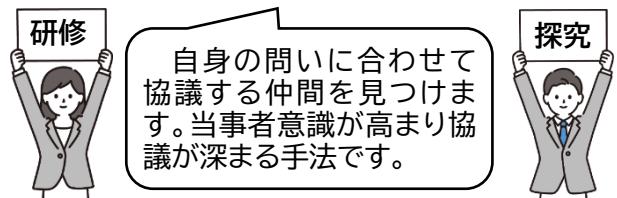
「学びの丘の研修、ためになつたよ」を目指して！

教育センター学びの丘では、次年度に向けて研修の内容や方法を大幅に見直しています。その一つとして、個人やグループによる各研修における「探究」と、「対話と省察」をキーワードに月1回ペースの所内研修を実施しています。

特に、研修を通じて「研修観の転換」を図り、研修内容を受講された方の所属校での実践に結びつける「学校との往還」をどのように実現するのかが、所内研修の主要なテーマとなっています。

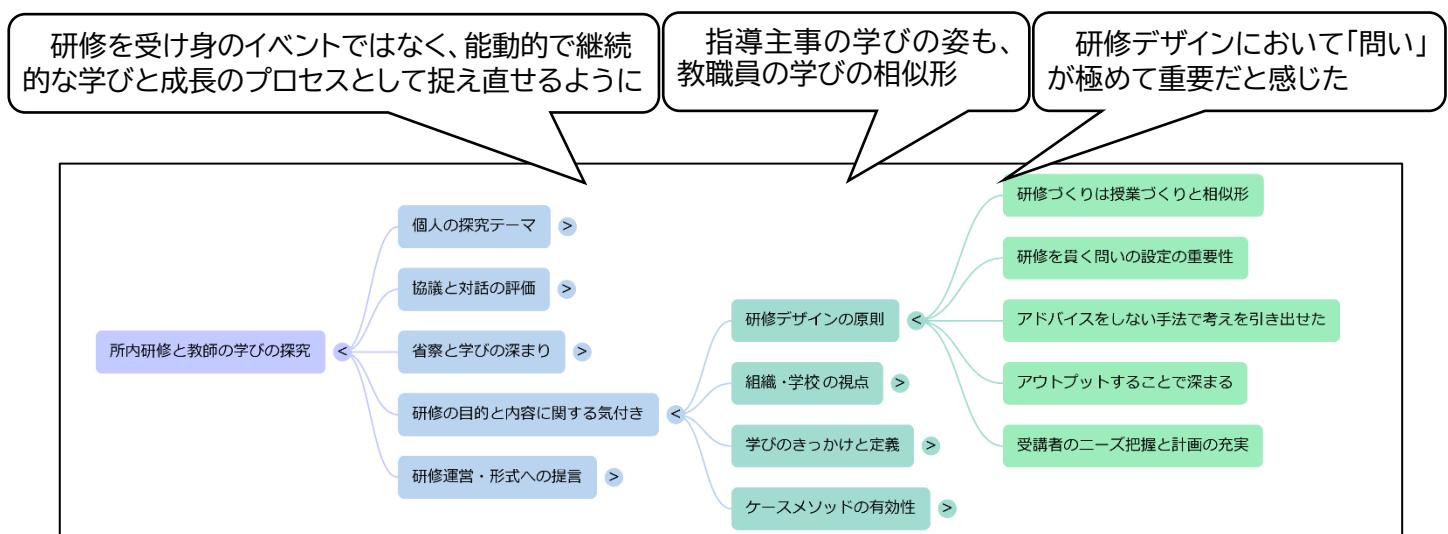


所内研修中のマグネットテーブルの様子



学び続ける教職員を応援したい！

1 1月までに実施した所内研修で出された所員の考えの一部を「NotebookLM」で整理しました。



NotebookLM で作成した所内研修の学びの Mind Map(一部)

この所内研修では、「研修」に対するイメージや必要性について意見を出し合いました。これからも「対話と省察」を重ね、よりよい研修デザインについて探究し、その成果を研修運営という形で還元していきたいと考えています。

現在、次年度に向けて検討を重ねています。こどもたちの学びを支えるために、一緒に学びませんか。



見てほしい、知ってほしい、生徒指導提要

生徒指導の**基本的な考え方や具体的な取組の方向性**を再整理するとともに、今日的な課題に対応していくため、令和4年に「生徒指導提要」が改訂されました。

当センターが実施した「教育相談研修講座B」における立命館大学 野田 正人 名誉教授の講義、また「生徒指導研修講座」における関西外国語大学 新井 肇 教授の講義でも取り上げられました。

生徒指導の目的とは?

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を目的とする。(生徒指導提要 P13)

生徒指導の基盤となる発達支持的生徒指導

発達支持的生徒指導は、特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象に、学校の教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる**生徒指導の基盤**となるものです。(中略)発達支持的生徒指導では、日々の教職員の児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、及び、授業や行事等を通した個と集団への働きかけが大切になります。(生徒指導提要 P20)

学習指導と生徒指導を相互に関連付けながら、両者の充実を図る

- 学習指導要領では、知・徳・体にわたる「生きる力」のバランスの取れた育成を重視しており、**学習指導と生徒指導との関連を意識しながら、日々の教育活動を充実していくことが重要です。**
(生徒指導提要 P41)
- 授業は全ての児童生徒を対象とした**発達支持的生徒指導の場**となります。(生徒指導提要 P46)

どんな授業をすればいいの?

教科の指導と生徒指導の一体化

教科の指導と生徒指導を一体化させた授業づくりは、**生徒指導の実践上の視点**を意識した実践に他なりません。(生徒指導提要 P46)

生徒指導の実践上の視点 (生徒指導提要 P14)

- | | |
|------------|--------------|
| ○自己存在感の感受 | ○共感的な人間関係の育成 |
| ○自己決定の場の提供 | ○安全・安心な風土の醸成 |

授業の中に、知識や思考力を育て学力を高めるだけではなく、児童生徒が個性を伸ばし社会性を身に付けるように働きかける生徒指導の視点を意識して組み込んでいく。

今回は生徒指導の意義や教育課程との関係について一部を紹介しましたが、他にも、**生徒指導を支える組織体制等**についても整理されています。また、「個別の課題に対する生徒指導」として、各個別課題について、関連法規や対応の基本方針に照らしながら、未然防止や早期発見・対応といった観点から、指導に当たっての基本的な考え方や留意すべき事項等について示されています。大切な内容ですので、是非、再確認してください。

参加者
募集中！

放課後、ちょっと立ち寄ってみませんか？ ～オンライン「学びセッション」で、教職員でつながろう～

1人で考え、悩んでいることはありませんか？



授業やこどもとの関わりで「他の先生はこんな時どうしてるんだろう？」と思ったことはありませんか？

そんな時は、テーマに沿ってオンラインで対話する「学びセッション」への参加をご検討ください。



前回の様子は？

- ・午後4時から、40分程度実施します。
- ・答えを出す場ではなく、「話してみる」「聞いてみる」場としてご活用ください。



後期日程

1/14、1/21、2/25の3日間

まずは一度、参加してみませんか？
小さな一歩が、教職員の大きな輪につながるかもしれません。

「同じテーマであっても全く違った実践がなされていることが分かった。」
「取組や課題などを楽しく話せる機会があることはとてもよい。」
などの声が届いています。



詳細は[こちら](#)



1/30(金)
オンライン開催！

令和7年度和歌山県教育センター学びの丘 研究報告会を開催！

当センターでは、今日的な教育課題や学校が直面している課題の解決に向け、例年、学びの丘研究報告会を開催しています。本年度は「教職員の学び」を中心に考えることを大きなテーマとして企画しています。前半は、独立行政法人教職員支援機構 審議役 島谷千春氏の講演を予定しています。また後半は、学びの丘研修員が本年4月から取り組んできた研究の成果や各学校の課題解決に向けての展望等を発表します。その後、「学びセッション特別版」として、教職員の学びについて協議を行います。是非ご参加いただき、ご自身の学びに役立てていただければ幸いです。

報告会の流れ

12:30	12:50	13:00	14:00	14:15	研修員研究報告	15:10	15:20	15:55	16:00
受付	開会挨拶	講演	休憩	研修員報告1	研修員報告2	休憩	学びセッション	閉会挨拶	

〈講演テーマ〉

「子どもの学びの転換と大人の学びを一緒に考える」
独立行政法人教職員支援機構 審議役 島谷 千春 氏

日時：令和8年1月30日（金）12:50～16:00

形態：オンライン配信

※参加方法等、詳細につきましては、別途連絡する案内をご確認ください。

研修員報告1

【小学校：体育科】

「児童の運動有能感を高める授業デザイン
-跳び箱運動の動感形成を通して-」

研修員報告2

【小学校：社会科】

「こどもが自ら学び進める自立した学習者を目指した授業構想
-個々の探究的な学びを主とした社会科學習を通して-」

- ・研修員研究報告については、当日までに内容等を変更することがあります。
- ・経年研修（初任者研修、2年次研修、3年次研修、中堅教諭等資質向上研修【新規・継続】）の選択研修として出席することができます。その場合は、全ての日程に出席してください。

詳細は[こちら](#)

